

FUTURE CENTER

フューチャーセンター通信

2017.12.09 2018年2月1日発行号

VOL.35



あったらいいな、こんな場所 ～多治見ながせ商店街～

12月9日(土)、多治見市ながせ商店街において第9回ぎふフューチャーセンターを開催しました。今回のフューチャーセンターには、大学生や地域の方に加え、地元の高校に通う高校生13名が参加し、終始明るく賑やかな中、対話が行われました。

ながせ商店街の印象を出し合った後、ながせ商店街にある空き店舗が今後どのように活用され、どのような役割を果たしていくと良いかを話し合いました。「若い人が一人で入れる書店をつくる」や「商店街と商店街を繋げる役割を果たす必要がある」などの意見が出ました。

参加者の方々にとっては、地元に住んでいたり、通学していても意外に知らなかった多治見の良さを再発見したり、地域について考えていただくいい機会になりました。



各グループからの
意見・アイデア

今回のまとめ

- 若い人が一人で入れる書店をつくる
(24時間営業など図書館とは差別化)。
- いろいろな年代が集まり交流できる場所をつくる。
- 商店街と商店街を繋げる役割を果たす必要がある。

今後の展開

提示された意見は、今後、多治見市の施策や多治見まちづくり株式会社の取組みの参考とされることが期待されます。

担当者の感想

(地域コーディネーター 松原裕子)

ながせ商店街で2度目の開催となった今回は、高校生の参加も得て、賑やかなFCになりました。地域からの若者に対する期待は大きく、今回のフューチャーセンターが、若者が多治見や商店街のことを学び、地域の活動に関わるきっかけになると良いと思います。



岐阜大学
教育学部1年

加藤 奈那子 さん

地元のいいところ再発見!

とにかく楽しかったです。地元である多治見を、外の人に向けてPRできることやものが見つけられました。これからそれをもっと増やしていくためにも、地域の活動に参加したいという気持ちが大きくなりました。

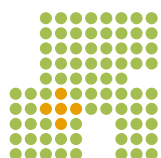


多治見工業高等学校1年

鈴木 智也 さん

まだまだ多治見は良くなる。

多治見について考えることは、とても楽しく、大人の方々と交流することで自分の考えや多治見に対する思いが変わったり、幅が広がりました。まだまだ多治見は良くなると感じました。



CCSC
Center for Collaborative Study with Community

地域協学センター
TEL.058-293-3880
http://www.ccsc.gifu-u.ac.jp

[FAX] 058-293-3881
[E-Mail] ccsc@gifu-u.ac.jp



国立大学法人

岐阜大学



文部科学省

地(知)の拠点